

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入しており、行事に参加したり子ども会の行事に協力している。町内会長からの紹介により、地元のボランティアが多く訪れている。ホームの庭の池には金魚があり、保育園の散歩コースになっている。認知症についてホームのノウハウを地域に伝えていきたいと考えている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	行事報告のほか外部評価や、インフルエンザ対策についてなどを議題としている。地域での活動については、町内会長から、家族介護をしている人が話し合える場をつくりたいと考えている、との話があり、ホームとしても参加、協力していきたいと考えている。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	認定更新時に担当窓口へ声をかけ挨拶している。市の新人研修に協力し、介護保険課の職員が見学に来た。何かあった時には、地域包括支援センターに相談し、アドバイスを受けている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族会はないが、ホームの便りで行事への参加や来訪を呼びかけている。来訪時には声をかけ、直接意見や要望を聞いて、必要な時には時間をつくり管理者は家族と話し合っている。外部評価の家族アンケートの要望には早急に応えていきたいとしている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

町内会に加入しもちつき大会や運動会に参加したり、子ども会の行事に協力している。町内会長の紹介で地元の方がボランティアとして訪れており傾聴ボランティアもある。ホームの庭は近くの保育園の散歩のコースとなっている。運営推進会議で町内会長から、家族介護をしている人が話し合える場を作りたいたいと考えているとの話があり、ホームとして参加協力し、認知症についてのノウハウを地域に伝えていきたいと考えている。どのような時にも拘束はしないことを基本としており、禁止、指示の言葉も止めていこうと職員間で話し合っている。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。